

令和5年度夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」の オープニングセレモニーを行います

長野県立歴史館では、令和5年(2023年)夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」を開催し、下記のとおり、オープニングセレモニー及び内覧会を行います。

1 オープニングセレモニー

- 日時 令和5年6月30日(金) 15時30分から15時50分まで
- 会場 長野県立歴史館 2階 企画展示室前
- 来賓 千曲市副市長 大内 保彦 様
長野県考古学会会長 小林 正春 様

2 内覧会(報道機関のみ対象)

- 日時 15時50分から16時30分まで(オープニングセレモニーに引き続き実施)
- 会場 長野県立歴史館 2階 企画展示室
- 内容 当館特別館長及び担当者による解説

3 一般公開

- 開催期間 令和5年7月1日(土)から8月20日(日)まで
〔休館日:月曜日及び7月18日(火)。ただし、7月17日(月)及び8月14日(月)は開館〕
- 開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)
- 観覧料 企画展のみの場合:一般300円、大学生150円(高校生以下は無料)

※「1 オープニングセレモニー」はどなたでもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の基本的対策として、展示室内ではマスク着用・手指消毒をお願いします。
また、混雑状況によっては、入場制限をさせていただくことがあります。

展示の趣旨

長野県の古墳時代はどのような時代だったのでしょうか。

3世紀後半から全国に出現した巨大な前方後円墳。4～5世紀には、同じ形をした古墳が、副葬品の鏡とともに全国各地に広がりました。その発信源は「畿内王権」。古墳のカタチを支配秩序の象徴として掲げ、全国へ向けて勢力拡大をねらっていたのです。

そうした中、シナノの王たちは、畿内と、そして海の向こうの大陸との挟間で揺さぶられながら、自らの選択に迫られていました。

この企画展では、県内の主要な古墳に改めて注目し、それぞれの形や出土した考古資料、時代背景から、シナノの古墳の成り立ち、そして、シナノの王たちがとった地域戦略と古墳に込めた「主張」に迫ります。

(問合せ先)

長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課 文化財係 柳沢
電話 026-235-7441(直通)
026-232-0111(代表)内線4427
FAX 026-235-7493
E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

担当 長野県立歴史館 考古資料課 櫻井、石丸
電話 026-274-3992
FAX 026-274-3996
E-mail rekishikan-koko@pref.nagano.lg.jp